

令和5年・大阪支部「秋季歴史探訪の会」開催報告

和歌山巡り(絶景と歴史巡り)

大阪支部「歴史探訪の会」横山誠・神戸孝

和歌山部会 東照久

日 時：令和5年11月5日(日) 10:00～17:00

参加者数：24名

訪問地：①和歌山城 ②紀三井寺 ③紀州東照宮 ④黒潮市場

報 告：

今回は和歌山部会との共同開催です。当日は快晴となり、紅葉が始まる中、バスを利用して和歌山の歴史と絶景を楽しむ散策会となりました。各地のガイドは和歌山市の語り部、及び紀州東照宮では宮司様より直接歴史建築物の詳細説明をいただき充実した歴史探訪となりました。

① 和歌山城

- ・和歌山城は江戸時代の御三家のひとつで、暴れん坊将軍で有名な8代将軍徳川吉宗、および14代将軍徳川家茂を輩出し、江戸時代には人、情報、物が集まる幕府にとって要の地であったことが理解できました。
- ・水堀には大奥に通じる城主専用の御橋廊下が再建され、当時の面影を感じながら見事な庭園を鑑賞した。
- ・天守は和歌山市全体および紀の川、和歌山港が見渡す絶景の場所でした。

② 紀三井寺

- ・西国三十三所観音霊場の札所の二番目である。山内から湧き出る三つの霊泉から「紀三井寺」との名前で親しまれてきた古刹です。
- ・紀州徳川家の歴代藩主がその繁栄をここで祈願したと言われています。
- ・平成20年には日本最大の十一面観音菩薩が仏殿に造られ金箔の見事な観音様をみなでお参りしました。

③ 紀州東照宮

- ・元和7年に、初代藩主頼宣が創建した社殿は「関西の日光」と呼ばれ、左甚五郎による見事な彫刻が残されています。
- ・108段の階段は非常に急なため皆が登れるか心配されたが、ほぼ全員が階段で登り切りその絶景を楽しむことができました。
- ・下の全員写真は以前「ブラタモリ」撮影時にタモリが座ったそのベンチに座っての撮影であり、記念すべき写真となりました。

これらの歴史と絶景を堪能した後、黒潮市場でそれぞれが海産物を購入し、思い出を胸に帰路につきました。

(記：横山誠 K47・神戸孝 K50 院・東照久 C57)



和歌山城にて



紀三井寺にて



紀州東照宮にて